

基本目標 2

「さむかわ」を知ってもらい、
新しい人の流れをつくります

アピールポイントの発見・創出と発信力の強化

- ◇ 寒川神社を核とした観光振興に係る調査検討と観光事業の充実および観光イベントの情報発信
- ◇ 定住人口と交流人口の増加に向けたターゲット(ひと)に対するプロモーションなど、積極的なタウンセールスを推進



基本目標 3

子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい
環境をつくります

結婚から子育てまでの切れ目ない支援の充実

- ◇ 妊婦健康診査の助成金を48,700円から77,000円へ拡充
- ◇ 小児医療費助成対象の拡充に向けた取り組みや2歳児歯科健診の新規実施
- ◇ 町内全保育所(4園)における一時預かり事業の実施など

学力の向上と家庭教育支援の充実

- ◇ 中学校普通教室へのエアコン設置など、教育環境の整備
- ◇ 少人数学習の実施、寒川にこここ学習会(放課後補充学習会)の実施など、教育の質の向上
- ◇ 家庭学習における「家庭教育・家庭学習の手引き」の作成・配布など

子育てを応援する地域社会の実現

- ◇ 子育て支援に関する事業を実施する団体への補助金交付など、地域で子育てを支援する仕組みづくり
- ◇ 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みの推進



基本目標 4

発展し続けるまち「さむかわ」を
みんなでつくります

さらなる安心した暮らしのための防犯対策の充実

- ◇ 防犯灯の増設、防犯カメラの設置、青色回転灯装備によるパトロール実施など、地域の防犯力の向上
- ◇ 寒川駅北口に交番を設置(県が施工)



まちづくり活動への若い世代の参加・参画の促進

- ◇ 「さむかわ若者会議」の促進など、若い世代が主体的にまちづくり活動を行うことができるための支援
- ◇ インターネットを活用した意見交換の実施など、新たな情報共有ツールの構築



より快適な生活の実現に向けた交通環境の整備

- ◇ 倉見駅のバリアフリー化(エレベーターやスロープ等の設置など)
- ◇ コミュニティバスもくせい号の土日運行の継続、湘南台駅や辻堂駅へのバス路線確保など、公共交通の利便性の向上



人口減少社会の克服に向けて

寒川町人口ビジョン

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略



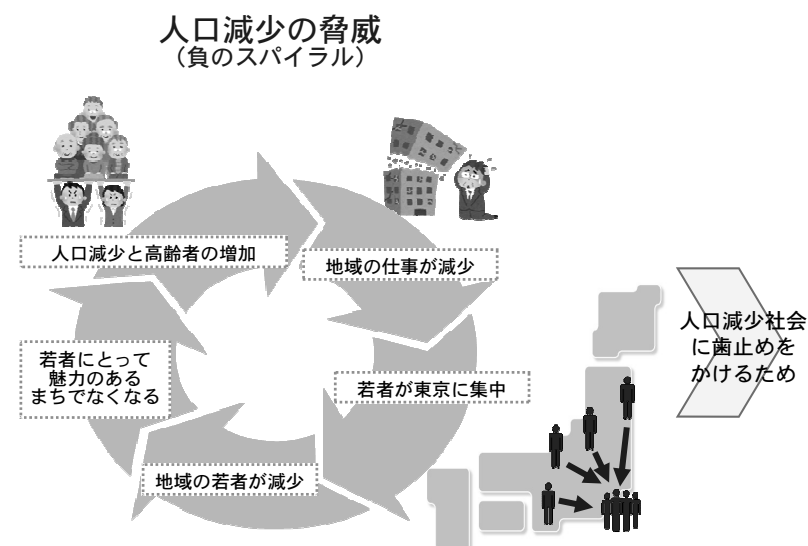
約1万人の人口減少 魅力あるまちであり続けるために

寒川町の人口は、平成27年現在48,167人で、これまではほぼ横ばいを推移してきました。45年後である平成72年には、現在の総人口が約1万人減少し、36,282人となり、65歳以上の割合を示す高齢化率は、約24%から約37%まで上昇することが見込まれています。

（平成27年度寒川町独自推計）

人口減少は、地域経済の規模の減少、地域での仕事の減少、税収の減少、公共サービスの質の低下など、まち全体の魅力低下につながるため人口減少に歯止めをかける取り組みが必要です。

寒川町では、人口減少の克服や魅力あるまちであり続けることを目指し、国が制定した「まち・ひと・しごと創生法」を踏まえ、人口、経済、地域、社会の課題に一体的に取り組むことを目的とした「寒川町人口ビジョン」と「寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。



より魅力あるまちへ

寒川町人口ビジョン

寒川町
まち・ひと・しごと
創生総合戦略

町が目指す将来の方向性

寒川町人口ビジョン

寒川町人口ビジョンとは

寒川町人口ビジョンは、寒川町の人口等の現状分析を基に、将来の姿や今後町が目指すべき、方向性を示した人口の将来展望です。

人口ビジョンは、平成27年から平成72年までを対象期間としています。



将来の姿と方向性

町では、平成72年の将来人口が36,282人となる推計結果を踏まえ、高齢化率の上昇や不足する労働力の確保などを考慮しながら、今後、寒川町が確保していくべき人口を算出し、『目標人口』としました。さらに、目標人口の達成には、魅力あるまちづくりが重要であることから、『目指すべき将来の方向性』を定めました。

『目標人口』を達成するために

◇ 出生率の改善

- 将来に人口を維持していくために必要な出生率（人口置換水準：2.07）まで、段階的に上昇するよう取り組みを進めます。

◇ 転入等による人口減少の改善（定住促進）

- 転入促進と転出抑制により、ファミリー世帯を中心とした若い世代の定住促進を図ります。

『目指すべき将来の方向性』

◇ 雇用機会の確保と産業の創出

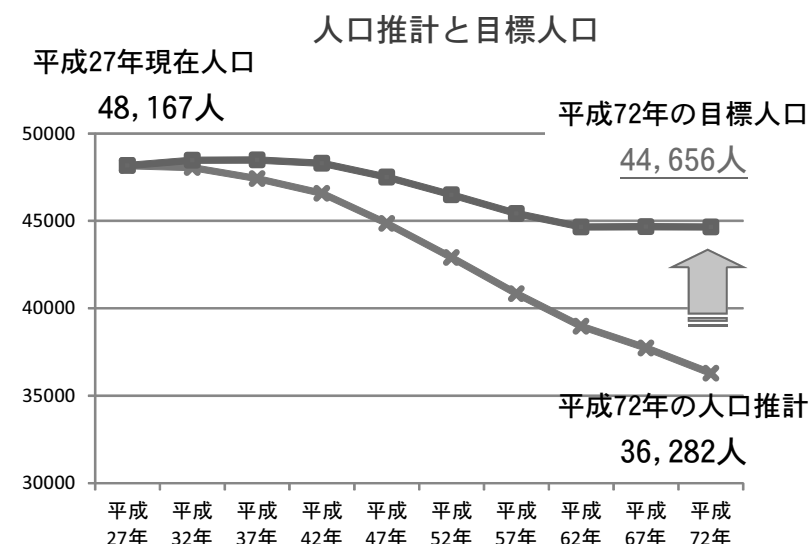
- 町内での雇用機会の確保
- 町内での新たな産業の創出

◇ 若い世代の子育て環境の整備

- 結婚から子育てまでの切れ目ない支援
- 子育て世代の経済的不安の解消

◇ まちの魅力と認知度の向上

- 快適で暮らしやすい生活環境の実現
- 居住地として選ばれるための魅力の発信



平成27年現在、寒川町の人口は48,167人、高齢化率は24.2%です。人口減少や少子高齢化がこのまま進むと、平成72年には、人口が36,282人となり、高齢化率は36.8%に上昇します。寒川町では、今後、出生率の改善や定住促進を進め、平成72年の人口を44,656人となるよう取り組みを進めます。（改善後の高齢化率は約30%）

より魅力あるまちへ

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、『人口ビジョン』で掲げた「平成72年に人口44,656人、高齢化率約30%」を実現するため、『目指すべき将来の方向性』に基づき、今後予想される人口減少への具体的な処方箋として、平成27年度から平成31年度までの5か年間の取り組みや施策の方向性、施策内容を定めたものです。

戦略の体系と取り組み

基本目標		施策
1	地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え、安定した「しごと」を育みます	● きめ細やかな支援による経済規模の拡大と産業集積の促進
2	「さむかわ」を知ってもらい、新しい人のながれをつくります	● アピールポイントの発見・創出と発信力の強化
3	子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります	● 結婚から子育てまでの切れ目ない支援の充実 ● 学力の向上と家庭教育支援の充実 ● 子育てを応援する地域社会の実現
4	発展し続けるまち「さむかわ」をみんなでつくります	● さらなる安心した暮らしのための防犯対策の充実 ● まちづくり活動への若い世代の参加・参画の促進 ● より快適な生活の実現に向けた交通環境の整備

基本目標 1

地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え、安定した「しごと」を育みます

きめ細やかな支援による経済規模の拡大と産業集積の促進

- ◇ 地域経済コンシェルジュ（中小企業診断士）による企業のライフステージや個別の経営状況等に応じた経営・販路・人材サポート支援の強化
- ◇ 創業希望者、創業者のための総合的なサポート支援の強化
- ◇ 経済団体、金融機関等、国などと連携した企業支援ネットワークの構築

※エコノミックガーデニングとは、地域経済を「庭」、地元の企業を「植物」に見立て、地域という土壌（資源）を生かして、地元企業を大切に育てることにより地域経済を活性化する政策の考え方です。

エコノミックガーデニングによる支援ネットワーク（イメージ）

